



自分から周囲に積極的にかかわっていくとき
ためらいが出始め、周囲を見て行動すること



もできるようになる4歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
生活する力	情緒	<ul style="list-style-type: none"> 保育室の環境や生活の仕方に少しずつ慣れ、保育者に親しみや信頼感をもって、安心して過ごせるようになる。 かんしゃくを起こしたり泣いたりすることがあるが、状況を言葉で伝えたと理解し、納得できることが増える。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの興味や実態を把握し、思いに寄り添いながら一緒に遊ぶ中で、信頼関係を築く。 自分の思い通りにならない経験も大切にし、周りの状況や友達の思いなどに気付かせたり、気持ちがおさまるまで待ったりする。
	自分のことは自分でする	<ul style="list-style-type: none"> 走る、跳ぶ、スキップするなど、いろいろな動きを楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友達と一緒に、思いきり走ったり跳ったりする中で、体を動かして遊ぶ心地よさが味わえるようにする。 好きな遊びの中で多様な動きを経験できるように環境や遊びを工夫する。
	健康で安全な生活をする	<ul style="list-style-type: none"> 自分で上手に排泄の始末をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 拭き方、トイレトペーパーの使い方を丁寧に知らせる。
	体を十分に動かし、進んで運動しようとする	<ul style="list-style-type: none"> 苦手な食品も少しは食べられるようになる。 箸を使って食べるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しでも食べられた時は一緒に喜び、大いに褒め自信へとつなげる。
	物の始末	<ul style="list-style-type: none"> 脱いだ衣服を畳む、ボタンのかけはずしをすることができるようになる。 片付け方がわかるようになり、自分でしようとする姿が見られるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でしようとする意欲を大切に見守り、繰り返し知らせる。 物の始末の仕方や手順が分かるように、視覚的な教材を用いて知らせ、できているかを確認する。また、幼児が自分でできるように片付けの動線に配慮する。
	手洗い・うがいなど	<ul style="list-style-type: none"> 一人で歯磨きをしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 鼻や口の周りが汚れていないか鏡の前で確認させ、清潔にすることを気持ちよさを知らせていく。

家庭で大切にしたいこと (保護者のかかわり)

	<ul style="list-style-type: none"> 子どもがかんしゃくを起こしたり泣いたりしている時は、落ち着いて<u>子どもの思いを受け止め、穏やかな口調で話すよう心がけましょう。</u> なぜよくないのか、理由や状況を分かりやすく伝えるようにしましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> 歩いて登降園するようにしましょう。継続して歩くことで、体力が向上します。 心地よい気候の日は、<u>外で遊ぶ機会を大切にしましょう。</u>また、安全に遊ぶよう見守りましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> <u>排泄の始末ができているかを確認し、難しい場合はその都度拭き方やトイレトペーパーの使い方を知らせていきましょう。</u>
	<ul style="list-style-type: none"> 苦手な食品は、一口でも食べられるようにしましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の着脱では、自分でやろうとする意欲を大事にして、見守りましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> 園に持って行くものの場所を決め、<u>子どもが自分で支度ができるようにしましょう。</u> 使ってよいものや玩具、ハサミ等の用具の場所を子どもに知らせたり、一緒に決めたりしましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> 鏡を見て自分で歯を磨かせ、磨いた後は、<u>大人がしっかりと仕上げ磨きをしましょう。</u>